

駅弁記念日

7月16日は「駅弁記念日」です。1885年（明治18年）7月16日、日本ではじめて駅弁が発売された出来事にちなんで記念日として制定されました。日本初の駅弁発売所は、日本鉄道東北線（元 JR 東北本線）の宇都宮駅。旅館を経営していた白木屋が竹の皮に握り飯2個とたくわんを包み、5銭の価格で販売したのがはじまりといわれています。天井が4銭で食べられた時代、内容のシンプルさを考えると非常に高額です。しかし、この時代は、まだ鉄道の運行本数自体が少なかったため、これでも赤字覚悟の値段だったそうです。

現代にも続く折詰弁当スタイルで「幕の内弁当」の駅弁が登場したのは、1889年（明治22年）姫路駅といわれています。また、1889年には静岡駅で駅弁と共にお茶も販売されるようになりました。当時は、ペットボトルも缶もなかったため、小さめの土瓶で販売していました。これは「汽車土瓶」と呼ばれ、1950年頃まで販売しているところがあったそうです。水筒に近い使い方、蓋に中身を注いで飲むスタイルでした。

このように明治末期～大正に多くの鉄道が開通していくに伴って、現代でも人気の「鯛めし」「サンドイッチ」など、各地の特色を取り入れた駅弁が誕生してきました。また、駅弁がよく売れているのは、単に「お弁当のクオリティが良いから」というだけではありません。駅弁を作っているメーカーが徹底的に美味しさを追求して研究しているのはもちろんですが、実は電車内に響き渡る「環境音」も関係しているようです。

イギリスのオックスフォード大学の研究によると、約80デシベル程度の音が聞こえている状態で食事をする、味を感じやすくなるということが明らかになっています。無音の場所で食べるよりも、少し環境音が聞こえる場所で食べた方が美味しく感じやすくなるとのこと。また、100デシベル以上の音が聞こえる場所で食事をする、逆に騒がし過ぎる影響で味を感じにくくなると言われています。駅弁が美味しく感じられるのも周りの環境音が味のイメージにも影響しているからなのかもしれません。



鎌野

上村監督

昨日、8月28日に静岡県高校野球夏の選手権大会の決勝戦があり、聖隷クリストファー高が静岡高に3対1で勝利して、甲子園初出場を決めました。聖隷クリストファー高は、コロナ禍の真ただ中で1度、静岡県の選手権大会で優勝しているのですが、その年はコロナの為に夏の甲子園大会が開かれず、甲子園出場はかないませんでした。その後も、秋の東海大会で準優勝した年がありましたが、春の甲子園出場校に選ばれず、まさに今回、悲願の甲子園出場達成です。

聖隷クリストファーの上村敏正監督は、自身も浜松商業で夏の全国選手権大会に出場しておりその後、浜松商業高・掛川西高でも監督として甲子園出場しています。現在は聖隷クリストファー高の監督兼校長でもあります。私が沼津東高野球部現役の時に丁度、上村監督が御殿場高の野球部監督を務めておられました。

その頃は鬼監督で、試合中に相手方ベンチでは監督が怒り狂い、ここでは書けない様な事が行われていました。そして、監督は見るからに怖いオーラを放っていました。私の同い年の従兄が御殿場高野球部に居たのですが、その代は結局2人しか野球部員は残らなかったと記憶しています。もう一人残った部員は、いま商工会の専務理事で商工会副会長の私とちよくちよく一緒です。現在の上村監督は仏の上村（そう呼ばれてるかは知りませんが）、になっているそうです。人間って、変わるのですよね。聖隷クリストファー高の甲子園での活躍を期待します！

英樹



配り

第
314
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室

TEL (0550) 87-0048

FAX (0550) 87-1237

〒412-0035 御殿場市中山518番地



幼き日半紙に朱墨で祖父書きぬ
歳を重ねて素晴らしさ知る

ねがみともみ



四六時中「待て、おすわり」など言いしこと
はたと懺悔す「雨土君ごめんね」

勝亦 りつ子



クマったクマった。

北海道で早朝にヒグマに襲われて新聞配達員が亡くなったいたましい事故がありました。ヒグマの生息していない本州でもツキノワグマに襲われて怪我をしたというニュースを最近割とよく聞きます。御殿場市では今年7月に富士山の幕岩ハイキングコースでの目撃情報があり、須走でも6月に浄水場の脇で目撃されています。お隣山梨ではR138 山中湖の手前の道路脇や河口湖町でも比較的民家に近いところでの目撃情報があるそうです。今年はクマの活動範囲が人間の生活圏に近いようです。猛暑で餌が少ないのが原因とも言われています。

富士山麓に生息する熊はツキノワグマで、北海道にいるヒグマに比べ小さく大人しい性格ではあります。それでも人間よりはよほど強靱な身体と鋭い牙と爪を持ち、襲われた場合には軽傷では済みません。逃げるが勝ちです。もし野外でクマと出会った場合、人とクマ、お互いが距離を置いて認識しあっている場合には静かにゆっくりとその場を離れれば、少なくとも富士山周辺ではクマの被害に遭うことはほとんど無いようです。ところが不意に目の前に現れた場合、クマも得体のしれない生き物（ヒト）に対して我が身を守る為に襲い掛かるといわれています。また、北海道など、人が食料を持っていると学習してしまったクマのいる生息域では逆にクマ鈴はクマを呼んでしまうともいわれています。怖いですね。山でゴミを捨ててはいけない理由がここにもあります。

クマの生息地域に立ち入る場合には「ここに人間が居ますよ〜！」とアピールすることが大切なのです。クマ鈴を鳴らしながら歩いたり、ラジオを点けながらだったり。私もよく富士山麓の樹林帯を歩きますのでクマ鈴を鳴らしながら歩いています。ところが歩みを止めて撮影している間、クマ鈴がなりません。そこで私は子供用のおもちゃの鉄砲を持っています。昔駄菓子屋に有ったような火薬で音が出るピストルです。あれ、結構大きな音がするんですね。富士山を歩いていてパーンッ!!と大きな音が響いたら、その近くにはもしかしたら私が居るかもしれません。驚かせてしまったらごめんなさい。



柳田敏和



新世界より

現在、二十四節気の大暑：7/28～8/1 頃七十二候の『土潤溽暑(つちうるおうてむしあつし)』・8/2～8/6 頃：大雨時行(たいうときどきにふる)

まったく、蒸し暑すぎる毎日で、夕立でもないだろうか……。今年は「カ」も少ない。蟬の鳴き声もなんとなく少ないような……。皆さま熱中症に気を付けてください。

暑くなる前に御殿場市民会館で Mt.Fuji 交響楽団第 15 回定期演奏会に出かけた。演奏曲はエルガー「威風堂々」：ドボルザーク「交響曲第 9 番「新世界より」」他。この Mt.Fuji 交響楽団はアマチュアの団体で楽団員は皆さん仕事をしながら夜な夜な練習に励み演奏会に臨むのだそうです。趣味の領域といえ、そうなりますが、好きでないとできません。楽譜読めないとだめですね。私は、地図同様読めません。

ドボルザークの新世界、子供のころから聞くのが好きでして、日本語の歌詞「家路」

♪ 遠き山に日は落ちて 星は空をちりばめぬ 今日の業(わざ)をなし終えて
心軽く安らえば 風は涼しこの夕べ いざや楽しき まどいせん まどいせん ♪

最初のフレーズは耳に残っている方もいらっしゃるかと思います。文字にしてみると、また違った意味でいいですね。歌詞付きの演奏ではなかったですが、耳慣れている音楽は癒されます。後ろの金管楽器トロンボーンの横のチューバ。出番が少ないので、いつ楽器を手にするのかに注視し。前列のバイオリンに凝視。生で聞きたかった「新世界から」を堪能しました。今度は日本フィルハーモニーや、ああできればベルリンフィルのクラシックの演奏を堪能したいものです。服装マナーがありそうだ。う〜ん。う〜ん。

ねがみ

災害級の

連日の猛暑、いや酷暑が続いていて 29 日現在 40℃に迫る災害級の暑さに怖さも感じる今日このごろ。台風 9 号が近づくにつれ暑さが日増しに強くなっていく気がします。一日一日を体調に注意しながら乗り切るしかありませんね。

我が家は 3 階建てですが、数年前から各階とベランダに温度計を設置しています。親機に子機から送られてくる温度が表示されるのですが、ベランダの子機は雨に濡れないよう軒下であり 12 時時点で 32.3℃でした。ひなたは何度かなと日に当たるところに移動したらみるみる上がり 38℃になりました。気象庁が各観測地点の温度を発表しますが、今日のお昼の御殿場市の気温は 36.7℃。場所によって実際の気温はもっと高くなっているということです。

救急車のお世話にならないよう、がんばって乗り切りましょう。



祥子